



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月3日  
上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社  
 コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (COO) (氏名) 鈴木 俊郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務本部長 (氏名) 御園 明雄 TEL 03-3453-5111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	84,760	△12.0	1,064	△23.4	885	△30.3	650	△24.3
2020年3月期第3四半期	96,362	△16.3	1,390	10.1	1,270	15.3	859	14.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 438百万円 (△36.0%) 2020年3月期第3四半期 684百万円 (△28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.91	—
2020年3月期第3四半期	44.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	76,985	41,255	53.5
2020年3月期	73,659	42,029	57.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 41,208百万円 2020年3月期 41,982百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	55.00	70.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	32.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△9.8	1,850	△5.5	1,650	△11.2	1,500	3.4	78.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,281,373株	2020年3月期	24,281,373株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,097,379株	2020年3月期	5,101,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,182,110株	2020年3月期3Q	19,179,134株

(注) 期末自己株式数には、取締役（社外取締役を除く）を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2021年3月期3Q 132,800株、2020年3月期 136,700株）が含まれております。また、本信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期3Q 134,814株、2020年3月期3Q 137,888株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による影響が長期化する中、各国において引き続き感染予防を徹底しながらの経済活動が余儀なくされるなど、厳しい状況が続きました。

当社グループの事業領域であるエレクトロニクス業界におきましては、米中貿易摩擦やコロナ禍での生産減少、中国における自動車市場の回復を背景に、半導体の需給が逼迫する状況となりました。また、国内のICT業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期や景気後退に伴い、企業のIT投資は抑制傾向となった一方、リモートワーク環境の整備をはじめとしたデジタル化に向けた投資は活発化しました。

このようななか、当社グループにおきましては、デバイス事業では主要仕入先であったルネサスエレクトロニクス株式会社との特約店契約の解消（昨年6月末）に伴い、海外半導体メーカー製品の販売拡大に向けた人的リソースのシフトを進めるとともに、車載関連やAI/IoTを切り口とした新規商材やビジネスモデルの開拓に努めるなど、抜本的な収益構造の転換に努めました。ソリューション事業では将来に向けた収益基盤の確立を目指し、三信データセンターを軸にクラウド事業の強化に注力するとともに、顧客基盤数の拡大に向けた取り組みの強化にも努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は847億60百万円（前年同期比12.0%減）となり、営業利益も、売上高総利益率の改善や販管費の減少があったものの、売上高の減少を補うには至らず、10億64百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益は8億85百万円（前年同期比30.3%減）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億50百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

なお、セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

#### (デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やモジュール開発等の技術サポートを行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前年同期に比べIoT関連ビジネスや海外新商材を主に取り扱う戦略デバイス事業は増加したものの、COVID-19の感染拡大や仕入先の商流変更により、コアデバイス事業は減少し、さらにボリュームビジネスでは事業ポートフォリオ改革の一環として販売規模を最適化した影響も加わり大きく減少したことから、売上高は762億6百万円（前年同期比12.3%減）となりました。損益面につきましても、販管費の削減に努めたものの、売上総利益の減少が影響し、セグメント利益は2億11百万円（前年同期比63.1%減）となりました。

#### (ソリューション事業)

ソリューション事業では、ネットワーク機器やセキュリティ製品、基幹系業務システム、クラウドやデータセンターを組み合わせ、お客様毎に最適なICTインフラを提供しております。また、AI/IoT等の革新的な技術やクラウドネイティブにより進化し続けるテクノロジーにも対応し、設計や構築、運用保守まで一貫して行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、COVID-19の感染拡大による影響はデバイス事業に比べ軽微に留まったものの、アプリケーションソフトを除く分野は総じて前年同期に比べ販売が減少したことから、売上高は85億54百万円（前年同期比9.9%減）となりました。また、損益面につきましても、売上高総利益率が向上したものの売上高の減少を補うには至らず、セグメント利益は6億74百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて33億26百万円増加し、769億85百万円となりました。これは主に売上債権の増加91億50百万円、商品の減少32億16百万円、現金及び預金の減少21億91百万円等によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて41億円増加し、357億30百万円となりました。これは主に短期借入金の増加43億73百万円等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7億74百万円減少し、412億55百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少5億66百万円、為替換算調整勘定の減少3億87百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億50百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間までの業績進捗と、現時点で入手可能な情報をもとに、2020年11月5日に公表しました2021年3月期連結業績予想を下記の数値に変更いたしました。また、配当につきましても、2021年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を変更したことに伴い、2020年11月5日に公表しました期末配当予想を下記の数値に変更いたしました。

詳細は本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## (2021年3月期連結業績予想)

売上高	1,110億円	(前期比 9.8%減)
営業利益	18億50百万円	(前期比 5.5%減)
経常利益	16億50百万円	(前期比 11.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	15億円	(前期比 3.4%増)
期末配当	1株当たり32円	(中間配当を含めた年間配当金は1株当たり40円)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,443	16,252
受取手形及び売掛金	24,074	34,744
電子記録債権	4,317	2,797
商品	16,165	12,948
半成工事	0	218
その他	4,572	3,699
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	67,566	70,652
固定資産		
有形固定資産	2,631	2,650
無形固定資産	489	499
投資その他の資産		
その他	3,006	3,216
貸倒引当金	△35	△33
投資その他の資産合計	2,970	3,183
固定資産合計	6,092	6,333
資産合計	73,659	76,985
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,039	13,888
短期借入金	14,953	19,327
未払法人税等	162	143
引当金	512	250
その他	1,294	1,490
流動負債合計	30,962	35,100
固定負債		
退職給付に係る負債	352	310
その他	314	319
固定負債合計	667	629
負債合計	31,629	35,730
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	5,329	5,329
利益剰余金	32,676	32,110
自己株式	△10,353	△10,348
株主資本合計	42,464	41,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338	488
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	△701	△1,088
退職給付に係る調整累計額	△120	△99
その他の包括利益累計額合計	△482	△695
非支配株主持分	46	47
純資産合計	42,029	41,255
負債純資産合計	73,659	76,985

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	96,362	84,760
売上原価	88,030	77,111
売上総利益	8,332	7,649
販売費及び一般管理費	6,942	6,584
営業利益	1,390	1,064
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	32	31
為替差益	55	—
その他	62	62
営業外収益合計	166	107
営業外費用		
支払利息	228	61
売上割引	7	7
為替差損	—	178
その他	50	39
営業外費用合計	286	287
経常利益	1,270	885
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	40	141
特別利益合計	40	141
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	0
会員権評価損	2	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	1,308	1,026
法人税、住民税及び事業税	212	237
法人税等調整額	237	137
法人税等合計	450	374
四半期純利益	857	651
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	859	650

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	857	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	150
繰延ヘッジ損益	△6	3
為替換算調整勘定	△184	△387
退職給付に係る調整額	△3	20
その他の包括利益合計	△172	△213
四半期包括利益	684	438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	437
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	86,867	9,495	96,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	86,867	9,495	96,362
セグメント利益	571	699	1,270

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	76,206	8,554	84,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	76,206	8,554	84,760
セグメント利益	211	674	885

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。